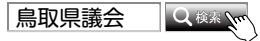


一般質問

11月定例会では、23人の議員が一般質問を行いました。
 本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。
 なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。
 ※掲載に時間がかかる場合があります。



答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

会派正式名称

- 【自由民主党】 鳥取県議会自由民主党
- 【民主とっとり】 鳥取県議会民主とっとり
- 【公明党】 公明党鳥取県議会議員団



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市
 会派 自由民主党

地方創生2.0を踏まえた鳥取県将来ビジョン

問 地方創生2.0と人口減少対策に関連して、本県の将来ビジョンは期間の中間点であり、急速に進む人口減少がもたらす影響、ねんりんピックのレガシー、新たな人口ビジョン、若者が描く未来像などを取り込んだ見直しを検討すべきだが知事の所見を伺う。

答 政府が考えている地方創生2.0の内容を横にらみしながら、具体的内容を含め、日本創生のための将来の人口戦略を遂行していく本県なりの地域づくりの指針策定のスタートを切るような計画づくりに着手したい。



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市
 会派 公明党

①やきとりフェス ②手話に関する法制定

問 ①鳥取県と鳥文化、焼き鳥文化のストーリー化を②手話に関する法制定を。

答 ①鳥取では鳥と一緒に暮らし卵を食べ肉を食べる習慣の中で生きてきた。そんなストーリーで県民と鳥をアピールでき、売り込むチャンス。やきとりフェスは2025年9月27・28日倉吉で開催。メディア戦略を考え、一過性ではなくレガシーが残るように作戦を練る。食パラダイスを彩り豊かにし、新年が実質とり年になるよう頑張る②国に働きかけ、手話言語を使いやすい環境作りを広める。



福田 俊史 議員

選挙区 八頭郡
 会派 自由民主党

地方創生2.0の本県への展開

問 ①石破総理は「地方創生2.0」を掲げ、今後10年間で地方創生を強力に推進することを表明された。県政にどう反映させていくのか②郡家駅拠点化の勉強会を主催した。中山間地域のまちづくりのあり方をどう考えているのか。

答 ①新たな交付金制度が示されるはず。避難所の充実を含めた危機管理や女性や若者に選ばれる地域づくり施策を鳥取県から先導的に行っていく②ハード面の整備は各地域が考えるべき課題。地元での議論に県からも参加し、真摯に対応していく。



河上 定弘 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

看護職の人材確保に向けた取組について

問 看護職の養成機関が定員割れとなっている現状において、成り手不足解消のため、若い世代へのアプローチや更なる魅力発信が必要では。

答 看護に入る人材の入り口を広げていく方策を新年度に向けて、関係機関と連携しながら探していきたい。

問 働く環境の改善に向け、医療機関のペイシェントハラスメント（※1）の実態調査と対応策を講じるべきでは。

答 ペイハラ対策の検討会議を関係者と開催し、来年度予算に向けて追加対策を考えていきたい。



前住 孝行 議員

選挙区 八頭郡
会派 無所属

①防犯対策②県立高等学校のバリアフリー化

問 ①「犯罪から県民を守る緊急対策事業」を広く活用し、防犯効果を高めていく必要があるが所見を伺う②県立高等学校におけるバリアフリー改修の方針及び今後の計画について、教育長の所見を伺う。

答 ①ニュースやテレビ番組が高齢者世帯には届くと思っている②（教育長）障がいのある児童生徒の学びの機会、学びの場が失われることがないように、工夫しながら改修を進め、バリアフリー化や、可能な限りの配慮をしっかりと進めて、学びの機会の確保に努めて参りたい。



前田 伸一 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

①地域食堂②副業③観光誘客（関西万博）

問 ①地域コミュニティの再構築の柱として地域食堂を位置付け推進してはどうか②県庁内・民間事業者に対してリスキングの観点で副業を推進してはどうか③兵庫県と協力し、大阪・関西万博から本県への誘客を推進すべき。

答 ①市町村や関係者と協議し新年度以降も事業を強化したい②県庁内での副業推進の仕掛け作り、民間対象のセミナーの開催や優良事例の横展開を実施③齊藤知事と調整済み。「日本遺産と温泉」等をテーマにインフルエンサーを通じ海外へ売り込みたい。



山川 智帆 議員

選挙区 米子市
会派 無所属

石破総理がおられる間に鳥取でできること

問 過疎の要因として大きなものは、交通網の弱さである。緊急輸送道路において山陰道の北条道路に未整備区間がある。北条道路東側の整備については国から発表があったが、西側は遅れており整備工程が定まっていない。山陰道有料区間の無料化を含め、ハードルがあれば、石破総理や丸山島根県知事とも連携し、クリアしていただきたい。

答 可及的速やかに、今ある障害部分の対策をとっていただき、しっかりと地盤にも沿ったような高速道路の整備をしていただくことと考える。



興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市
会派 民主とっとり

①鳥大連携とIT企業集積②農家の結婚支援

問 ①県内経済の成長力維持のため、鳥大との産学官連携を強化し、デジタル化に対応した人材育成、IT企業の集積を図ること。また連携窓口を県庁内に設けてはどうか②農家未婚率が高いのでJA、市町村等と結婚支援を。

答 ①鳥大の情報系と企業とのマッチングや人材育成支援は非常に重要な戦略的意義がある。新年度支援策充実を検討する。ITビジネスなど鳥大との連携を作り直すため、新年度の組織改正で考える②縁ナビのデータも活用し、JAと共同で結婚支援を考えたい。



語堂 正範 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

木育活動の拠点づくりフェアプライスの実現

問 木育活動の拠点を今後どのように推進されるのか。

答 県として拠点づくり支援を行い、今後も増やしていく。

問 2月定例会で、県版フェアトレードを提言。県版フェアプライス（※2）プロジェクトを実施、適正価格の理解を促すと答弁された。この度「もっと地産地消×フェアプライスプロジェクト」が実施されたが、成果はどうか。

答 フェアプライスは一定の認知度は高まった。始まったばかりの運動だが、国と連動させ、消費者と生産者が支え合える社会を実現したい。

（※）用語解説は7ページに掲載しています。



鳥羽 喜一 議員

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

SNSの誹謗中傷対策 ドローン特区の設立

問 本県で年間50件ほどの子どもの誹謗中傷事案が確認されている。警察の抑止力を以て未然に重大事案を防ぐ必要があると考えるが如何か。

答 (県警本部長) 学校との連携が何より重要であり、重大事案は犯罪行為として取り扱い厳正に対処する。(教育長) 警察へためらわず相談できるように警察と連携をはかり、学校にも周知をしていく。

問 ドローン特区を設立し、ドローン活用を推進していく考えはないか。

答 ドローン特区の可能性を是非検討させていただく。



前原 茂 議員

選挙区 米子市
会派 公明党

①カメムシ被害対策 ②第4種踏切対策

問 ①今回の補正予算で果樹網掛事業が成立しても、市町村予算が5月以降となるため営農作業に支障が出るのではないかと②警報機も遮断機もない危険な第4種踏切に簡易型の遮断器などの設置を急ぐべき。

答 ①柔軟な対応で、繰り越しも含めた執行方法で現場と調整したい②人命に関わることで看過できないことである。市町村も問題意識を持っており、関係者で話し合っ調整を進めるよう市町村、JRに働きかけを強めて参りたい。



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

物価高、国保料、産廃、 原発、教室・教員不足

問 ①灯油代支援・お米割引券を②賃上げ直接支援、融資の回収放棄条例制定を③紙の保険証存続を。国保料統一やめよ④自衛隊募集に子どもの名簿提供やめよ⑤淀江産廃許可撤回を⑥島根原発再稼働は知事自ら説明会開催を⑦富桑小の教室・教員不足の解消を。

答 ①検討中②検討中。条例は考えてない③国に制度周知求める。国保は話し合い中④市町村判断。一部自治体で名簿除外申請を実施⑤撤回しない⑥中電に説明会を求めている⑦(教育長) 市教委が対応。教員不在お詫びし確保努める。



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

①雪害対策②農業課題 ③情報リテラシー向上

問 ①今冬の積雪に対し、県民の安全確保は②JA県中央会による令和7年度主食用米増加方針への対応は③SNS活用等の課題を踏まえ情報リテラシー向上の進め方は。

答 ①除雪費確保、倒木防止の事前伐採により対応。防災アプリ等により、県民へ情報提供する②JAや現場の思いにこたえる施策展開を図る③民主主義のあり方を踏まえ、コミュニティを守る上での問題意識を整理し、取組を始めたところ。(教育長) 子どもたち自ら考える機会の充実、保護者の意識啓発を図る。



浜田 妙子 議員

選挙区 米子市
会派 民主とっとり

①島根原発2号機 ②教育現場2つの課題

問 ①12月7日島根原発2号機は再稼働に動き出しそのリスクは大きい。現時点での正しい情報を発信すべき。特に鳥取県にはプルサーマルの説明がない。その状況で再稼働を受け入れて良いのか。

答 ①安全協定に基づくのは通常の燃料であり、プルサーマルは対象になってない。規制庁も中電から申請が来た時厳格に審査すると話があった。

問 ②技能職員はスリム化方針で減らされ現場は厳しい。指導教員設置案も現場に不安。

答 ②(教育長) 今後の在り方を丁寧に検討する。



玉木 裕一 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

とっとり宣言の実現 信号機横断歩道の新設

問 鳥取から日本を創生する先導的役割を果たし人口減少問題をリードしていく。日本中が注目するような「とっとり版異次元の少子化・人口減少対策」に打って出るべきだ。

答 議員がおっしゃるよう新年度の予算編成に向けて、皆さんの声をまとめていく。

問 横断歩道や信号機の設置を要望する切実な声が多くあがっている。地域の声が届く行政、その重要性を訴えたい。

答 (警察本部長) 県民の手に丁寧に耳を傾けながら必要な交通安全施設の整備を図っていきたいと考えている。



広谷 直樹 議員

選挙区 岩美郡
会派 自由民主党

**オオズワイガニの影響
旧岩美鉱山の経費減を**

問 ①北海道で大量発生したオオズワイガニが与える松葉ガニへの影響・対応は②旧岩美鉱山は半世紀に亘って、坑廃水を中和処理している。半永久的に続く事業で、公費を投じている以上コスト削減に取り組む必要がある。

答 ①単価が安くなっており、国・底引き網協会へ問題提起し、日本海側が連帯して訴えている。関係店舗の指導監視を徹底する②澱物処理は熊本の事業者と交渉中で早期に契約手続きを進め、遺漏なきよう持続可能な形で施設運営にあたる。



西村 弥子 議員

選挙区 米子市
会派 無所属

**①校長の男女格差解消
②インド友好交流提携**

問 ①女性校長は中学4%、高校8%と極端に少なく「リーダー＝男性」という無意識の偏見に繋がる。人事や女性登用への考えを②ゴア州との観光・食文化・教育等交流を始め、目的に応じ様々な州との連携を。「まんが王国とっとり」海外版を作り本県の魅力を発信し、「漫画の聖地」観光PR等、印鳥の「架け橋」に。

答 ①（教育長）大きな社会課題が学校にもある。能力・意欲ある人を男女不問で登用する②未来を拓く志を持ち対応する。英語・ヒンディー語版を作りアピールを考える。



山本 暁子 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

**①クマ対策
②DXについて**

問 ①クマと人の生活圏の住み分け対策が必要。出没の際の各機関との連携は。

答 ①鳥獣被害対策協議会を設置し進めている。誘引要因の果樹等の伐採は新年度の施策で対策強化できればと思う。

問 ②地方の切り札の1つはIT技術。誰も取り残さない実用的な導入を。SNS問題やフェイク情報への対策は。

答 ②ITは大きな柱になる。信頼ある情報提供のためにOP（※3）も含め、県のHPで挑戦してもよい。情報リテラシー教育は重要。国へは動向を注視し適正化を訴える。



福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

①県版COP②闇バイト等防止③インド人材

問 ①来年はSDGs達成年まで5年。去年COP28（※4）に参加した環境大生など若者主体の県版COP気候変動対策会議の開催を②闇バイトなどネット犯罪防止に向け、ネット上の怪しい情報は無視や消去でなく、警察に積極通報する社会を本県から構築を③人材不足に悩む介護・宿泊・飲食・建設・運輸・農業団体等を対象に、インドでの人脈が豊富なANAデリ支店長の講演会の開催を。

答 ①新年度予算に向け検討②積極通報の体制を整備する③新年度に協議する。



伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡
会派 民主とっとり

**浸水想定が5m以上の
厚生病院の将来整備は**

問 厚生病院は中部地区の高度医療を支えてきたが、ハザードマップの浸水想定は、5mから10mで災害拠点病院の役割が果たせない。病棟も医療法の基準に満たない。3月に経営強化プランが策定され、施設整備の検討が示されているが取組の状況は。

答 中部地区には同じような規模の民間病院がある。来年度には国のガイドライン的なものも示される見込み。共倒れにならないよう機能分担も含め、地域の医療機関、市町の皆さんと課題を共有しながらあるべき姿を検討したい。



坂野経三郎 議員

選挙区 鳥取市
会派 民主とっとり

**産業振興について
SNSについて**

問 ジャパンディスプレイ鳥取工場の今後の見通しを問う。

答 働く皆さんが困らないことを最優先課題として取組む。

問 白ネギの安定生産と産地全体の販売額の回復策を問う。

答 JAや農家と一緒に対策をきちんと強化していく。

問 選挙で多発するSNSによる誹謗中傷、デマ情報に如何に対応するか。また、Z世代に届く広報戦略を問う。

答 フェイク情報対応実証チームで、どこまで踏み込んでいけるか検討する。YouTubeショートなど若者の提案を入れて、広報戦略を見直す。

（※）用語解説は7ページに掲載しています。

用語解説

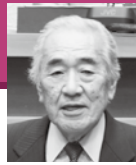
(※) **BMS**：ビーフ・マーブリング・スタンダードの略で、肉質等級の項目のうち、脂肪交雑（サシ）の評価基準。

(※1) **ペイシエントハラスメント**：医療現場において医療従事者が患者やその家族から受けるハラスメント。

(※2) **フェアプライス**：消費者だけでなく、生産者や販売者、農業を取り巻く状況などにも配慮した適正価格。

(※3) **OP**：オリジネータープロフィール。情報に、コンテンツの発信者や信頼性を示すデジタル識別子を付与する技術。

(※4) **COP28**：国連気候変動枠組条約第28回締約国会議。令和5年11月から12月にアラブ首長国連邦（UAE）・ドバイで開催。



内田 博長 議員

選挙区 日野郡
会派 自由民主党

本県の山野を守る人材の待遇改善

問 造林作業に必要な下刈り作業賃が、隣県等と比べ大きな格差が生じている。地域ごとの賃金単価により、県境地域では賃金の高い方へ人材が流れてしまい、林業振興に停滞が起こる。国がつくっている格差の問題だが、待遇改善施策のためどのように取り組まれるのか。

答 仲間の知事と活発に話をしており、公共工事や林業等の単価は、全国であまり格差をつけなくてもできる仕組みを検討すべきではないか。そのような提案をしていく。



浜田 一哉 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

デジタル社会における課題について

問 いじめや不登校は減らず自殺は増加している。豪州など諸外国でも同様の傾向があり、特にSNSの利用を年齢制限するなどの対策を講じるなどの動きもある。抜本的な対応策を検討すべき。

答 アメリカでも、子どもを守るための一定の規制が手法として成立してきている。子どもたちがいじめや犯罪に巻き込まれないよう、事業者に対する制限や使い方について、危険な目に合わせないための対策は考えること。国に対して、そうした検討を促していく。

江原特別自治道との交流

11月9日、鳥取県・江原特別自治道友好交流30周年記念行事に出席するため来県した金是晟（キム・シソン）江原特別自治道議会議長と浜崎晋一鳥取県議会議長は、面談を行った。両議長は、両県・道の議会交流の再開を受けて、2024年7月に鳥取県議会議員団が江原特別自治道議会を訪問して以来の再会であり、終始和やかな雰囲気で行われた。面談の冒頭、金是晟議長から、「30周年にとどまらず、40周年、50周年、100周年と仲良く交流を続けていきたい。」と、議会同士の交流も含めた両県・道の友好交流継続への期待が表明された。2025年、鳥取県議会と江原特別自治道議会は、2010年の「友好交流に関する合意書」締結から15周年を迎える。両地域の交流深化に鳥取県議会としても参与したい。



鳥取県議会タスクフォースの活動

新たに有権者となる高校生に議会や議員を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るため、鳥取県議会内に立ち上げたプロジェクト・チーム「鳥取県議会タスクフォース」の発案により、11月21日に高校出前講座を開催した。議員が県立倉吉総合産業高校を訪問し、同校2年生約160名と意見交換を行った。

